



長崎県諫早湾・有明海
熊本川辺川
沖縄島・東海岸
2002年度決算・2003年度
予算

NACS-Jは日本全国の森・川・海を守る活動に数多く取り組んでいますが、今年とくに注目していただきたい活動を3つご紹介します。

長崎県諫早湾・有明海

有明海に広がる異変をしらべる
いよいよ今年は「ありあけ大調査」

1997年に干拓事業のために諫早湾が閉め切られてから5年。

昨年夏のNACS-J調査で、赤潮の原因でもある「貧酸素水塊（極端に酸素の少ない水の塊）」が有明海の広い範囲で初めて観測され、干潟をすみかにしているさまざまな生き物や、それらをつまみくらしてきた人々、その美味しさを味わってくらしてきた人々の環境に大きな変化をもたらしていることが明らかになってきました。

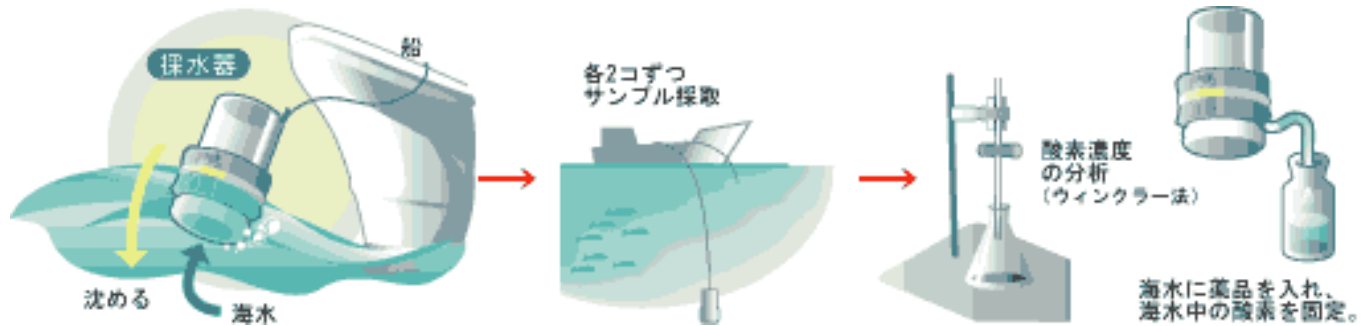
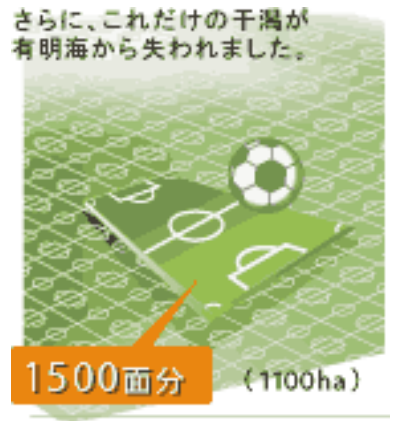
今年は、この海底の酸素不足の状況と発達過程をはっきりさせるため、地元の漁師さんや市民の方々と一緒になって海を調べる「ありあけ大調査」をスタートさせました。自らの手で事態を明らかにして意見を言おうと立ち上がった地元の方々を、ぜひあなたも応援してください。



<ありあけ大調査>

調査は湾内77ヶ所で一斉に実施

さらに、これだけの干潟が有明海から失われました。



<-SUPPORT US- サポートしてください>

採水器サポーター1万2000円

全77ヶ所、6回の調査に必要な費用

漁船の燃料サポーター3000円

調査薬サポーター300円

合計約550万円

熊本川辺川

ダムによる尺アユへの影響は？
大型アユを育てる川の力を調べます

30年以上も前に立てられたダム計画。地元の川漁師さんが経験的に感じていた川辺川のアユは大きいということが、一昨年行ったNACS-Jの緊急調査で裏付けられました。しかし、国土交通省はダムはできても環境は維持できるという姿勢を崩さず、川漁師さんたちの疑問は解けないまま付帯工事は次々すすみ、本体着工を目前としています。

NACS-Jでは昨年からは、ダム予定地周辺のクマタカ調査に加えて、アユの調査を始めました。今年はその2年目。調査範囲を流域全体にまで広げ、川辺川がアユを大きく育てる力をもつ理由を解明し、ダム計画の見直しにつなげたいと考えています。





ふつうの養殖アユ
全長15cm、体重90gほど



川辺川の2001年最大アユ
全長32cm、体重501g

この差を生むのはいったい何？

今年も秋には、この川辺川アユがインターネットでお求めになれます！
こんなオイシイ自然を、一度味わってみてください。

< -SUPPORT US- サポートしてください >

調査に必要な費用 合計約400万円

沖縄島東海岸

米軍基地移転計画から
ジュゴンがくらす藻場を守りたい

世界的に絶滅のおそれのある海棲哺乳類ジュゴン。日本の南西諸島は生息分布の北限にあたり、沖縄島中部の東海岸・辺野古の海には、ジュゴンの重要なすみかと考えられている海草藻場が広がっています。ところが、ジュゴンの生息数は5頭とも50頭ともいわれるほど、そのくらしぶりはほとんどわかっていません。



そうした中、この辺野古沖に滑走路をつくる米軍基地の移転計画があります。NACS-Jでは、IUCN（国際自然保護連合）の協力など国際レベルの支援も得ながら、種の保存法への指定と生息環境の保全をめざしてジュゴンの保護に取り組んでいきます。今年は、ダイバーの方々に協力を募って海草藻場の一斉調査を行い、米軍・米政府関係者との協議をすすめる計画です。



ジュゴン

体長3mほどの大型海獣で、リュウキュウアマモなどを食べてくらす。沖縄にはジュゴンのことを歌ったユングトウ（古謡）がある。

海草（うみくさ）は、海藻（かいそう）とは別の、海に適応した種子植物。大人のジュゴンは1日に20kg以上の海草を食べています。

< -SUPPORT US- サポートしてください >

調査に必要な費用 合計約200万円

これらの河川や海辺・干潟の保全のほかにも、森林・野生動物プロジェクト、国立公園・保護地域プロジェクトなど、NACS-Jは待ったなしの保護活動に引き続き取り組んでいきます。ご支援を引き続きよろしく願いいたします。

2001年度決算・2002年度予算

ご支援はこのように役立てています。

2001年度決算 2001年4月1日～2002年3月31日	
収入 2億6268万円	支出 2億5684万円
基本財産の運用利子 / 386万円	自然をまもる / 2914万円
会員の方々からのご支援 / 1億985万円	自然をしらべる / 4385万円
ご寄付によるご支援 / 4200万円	自然保護の意義をひろめる / 5951万円
セミナー受講料・資料販売等の収入 / 4766万円	自然保護の現状をつたえる / 3504万円
研究業務等の受託 / 2770万円	支援して下さる仲間をふやす / 2151万円
他機関からの資金助成 / 1375万円	NACS-Jの50年を記録する / 787万円
預金利息等の雑収入 / 48万円	組織を維持する / 5992万円
特定預金の活用 / 1738万円	

2002年度予算 2002年4月1日～2003年3月31日	
収入 2億7247万円	支出 2億7247万円
基本財産の運用利子/ 292万円 会員の方々からのご支援/ 1億1230万円 ご寄付によるご支援/ 4757万円 セミナー受講料・資料販売等の収入/ 4686万円 研究業務等の受託/ 2320万円 他機関からの資金助成/ 1058万円 預金利息等の雑収入/ 50万円 特定預金の活用/ 2854万円	自然をまもる/ 2990万円 自然をしらべる/ 4082万円 自然保護の意義をひろめる/ 4700万円 自然保護の現状をつたえる/ 3680万円 支援して下さる仲間をふやす/ 3465万円 NACS-Jの50年を記録する/ 1570万円 組織を維持する/ 6760万円

Copyright(c)2003 THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN, All rights reserved.